

令和3年8月26日

うるま市長 中村 正人 様

うるま市水道事業及び下水道事業審議会
会長 瀬口 浩一

うるま市下水道使用料の水準について(答申)

令和3年3月25日付け、う水総第 338001 号で諮問のありました「うるま市下水道使用料の水準」について、うるま市下水道事業事務局にて作成した資料に基づく審議の結果、次のとおり答申します。

記

1. 下水道使用料の現状について

下水道事業においては、汚水処理に係る費用を受益者である使用者からの使用料により賄うことが原則とされている。しかし、今回の使用料算定にあたり令和3年度から令和7年度までの5年間の使用料収入を見込んだところ、汚水処理に係る費用をどの程度使用料収入で賄っているのかを表す経費回収率が令和3年度から令和7年度の5年間の平均で 59.31%と推計され、今後も汚水処理に係る費用の約4割を一般会計からの補てん収入(繰入金)で賄うことが必要な状況である。一般会計は、下水道処理区域外の市民を含む市税を主な財源としていることから、費用負担のあり方や公平性の観点から問題がある。

また、下水道の整備と維持管理を計画的に推進し、下水道サービスを持続的に提供するためには、下水道施設全体を計画的かつ効率的に管理していくなど、経営努力を重ねて効率的な事業経営に取り組む必要がある。下水道使用者には、下水道の役割や経営状況などを啓発するとともに、安全で快適な下水道サービスの提供に多額の費用がかかることを十分に説明し、受益に応じた適切な負担水準に近づける努力が必要である。

2. 下水道使用料の水準について

うるま市の経費回収率は、県内 11 市と比較して低い水準であり、下水道事業における受益者負担の原則や汚水処理に係る費用を一般会計からの繰入金で補う現状を踏まえ、使用料水準の見直し(使用料改定)が必要であると考えます。

しかし、今回の令和3年度から令和7年度までの使用料算定見込みにおいて、年平均の使用料不足額が約4億円と推計され、一度の改定で使用料不足額の全額を改善

する場合、大幅な改定率となるため、利用者負担への影響を勘案する必要があると考
える。

また、国からは、公営企業会計に移行している団体について、少なくとも5年に1回
の頻度で、下水道使用料改定の必要性を検証し、経費回収率の向上による段階的な
使用料適正化に向けた取組を推進するよう要請がある。

適切な下水道使用料の水準を確保するため、最終的には、経費回収率 100%を目
指す必要があると考えているが、使用料算定に基づく使用料の大幅な改定率に伴う
急激な利用者負担増は避けるべく配慮が必要であり、中長期的な視点で、定期的か
つ段階的に改定に取り組む必要があると判断する。

以上のことから当審議会においては下水道事業の今後の経営状況や下水道使用
者の負担などを総合的に検討した結果、別紙「下水道使用料改定表」のとおり変更す
ることが妥当であると判断する。

なお、当審議会は次のとおり付帯意見を付する。

付帯意見

- (1) 下水道使用料の改定にあたり、市民の理解が得られるよう十分に説明責任を果た
すこと。
- (2) 経営戦略を踏まえ、事業経営の効率化、収入の確保に努めること。
- (3) 下水道使用料の見直し期間を3年間から5年間とし、定期的に見直しを検討する
こと。
- (4) 下水道未接続者に対し、接続の理解を図る広報活動等での周知に加え、個別訪
問や接続補助金の活用を推進し、接続率の向上を図ること。

別紙

下水道使用料改定表(税抜き)

種別		水量(m ³) (1か月)	使用料			改定率
			現行	改定 (案)	増加額	
家庭用 汚水	基本使用料	0～10	600 円	650 円	50 円	8.33%
	従量使用料 (1m ³ につき)	11～30	75 円	95 円	20 円	26.67%
		31～50	85 円	110 円	25 円	29.41%
		51～100	100 円	130 円	30 円	30.00%
		101～300	125 円	155 円	30 円	24.00%
		301～	140 円	175 円	35 円	25.00%
業務用 汚水	基本使用料	0～10	900 円	900 円	0 円	0.00%
	従量使用料 (1m ³ につき)	11～30	100 円	120 円	20 円	20.00%
		31～50	115 円	140 円	25 円	21.74%
		51～100	115 円	145 円	30 円	26.09%
		101～300	130 円	160 円	30 円	23.08%
		301～500	130 円	180 円	50 円	38.46%
		501～1000	145 円	185 円	40 円	27.59%
		1001～	145 円	188 円	43 円	29.66%

(参考)

1. 審議会の審議経過

	開催日	会議内容
第1回	令和3年3月25日	諮問、うるま市下水道事業の現状について
第2回	令和3年4月28日	下水道使用料水準検討の背景、経営状況(経営指標)、下水道使用料の状況、下水道使用料体系など(県内11市比較等)について
第3回	令和3年7月7日	下水道使用料対象費用の見通し、下水道使用料算定、下水道使用料水準、下水道使用料単価改定案について
第4回	令和3年7月21日	下水道使用料水準、下水道使用料単価改定案について、答申案の検討について

2. 水道事業及び下水道事業審議会委員名簿 (令和3年度)

【諮問:うるま市下水道使用料の水準について】

会 長 瀬口 浩一 (琉球大学 教授)
副会長 友寄 秀憲 (うるま市自治会長連絡協議会)
委 員 伊波 幸人 (うるま市自治会長連絡協議会)
委 員 比嘉 敦子 (うるま市女性団体連絡協議会)
委 員 和宇慶 泰子 (うるま市女性団体連絡協議会)
委 員 石川 満 (うるま市商工会)
委 員 新垣 壮大 (うるま市商工会)

計 7 名